

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～なかよく 明るく つよく正しく～

いじめについて考える週間

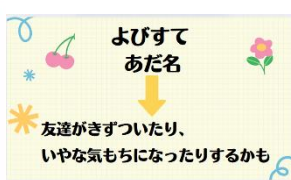
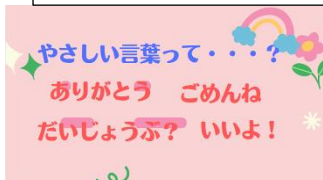
6月2日(月)から8日(日)は、岡山県が設定している「いじめについて考える週間」です。遷喬小のめざす児童像のひとつは「自他を大切にする子」の育成です。グループ活動等を通して、思いやりの心をしっかり育ててもらいたいと考えています。

5年生にベトナムから転校生がありました。ほとんど日本語が分かりませんが、5年生の子供たちの中には、自分からベトナム語のあいさつを調べてきて登校時に笑顔でベトナム語の「おはよう」を伝えたり、授業中には、となりに座っている児童が、教科書やノートの準備をやさしく手伝ってあげたりと、「思いやる姿」を見ることができます。

遷喬小の強みのひとつは、多くの児童同士が関わり合えることです。人それぞれ違って当たり前です。そのことを学校生活を通して学んでくれています。

遷喬小の今月の生活目標は「やさしい言葉～さん・くん・ちゃんをつけてよぼう～」です。全校児童集会で、生徒指導担当から相手を思いやる言葉遣いについて子供たちに話をしました。

全校児童集会 提示資料(生徒指導担当作成)



野外活動

5月29日(木)・30日(金)、5年生が野外活動で、国立吉備青少年自然の家に行きました。出発式で、5年生に、学校とは違う場所で、遷喬小のスローガンである「なかよく 明るく つよく正しい」力をしっかり高めてきてほしいと伝えました。5年生は、カッターこぎで、力をあわせてがんばる姿、キャンドルサービス(小雨のためキャンプファイヤーから変更)のスタンツでは、友達と明るく歌い・踊り楽しむ姿、宿泊棟では他の団体のことを考えた行動と、まさに「なかよく 明るく つよく正しく」にふさわしい姿を見ることができました。

野外活動で高まったチーム力を、遷喬小の高学年として、学校生活でしっかり発揮してくれることを期待しています。

野外活動の様子



租税教室

5月28日(水)、真庭法人会の方をゲストティーチャーに迎え、6年生が税金について学びました。社会生活のどんなところで税金が使われているのかをクイズ形式で考えたり、税金がもしもなくなったら暮らしがどうなるのかを動画で見たりしました。

子供たちは、6年間の小学校生活を送るために、多くの税金が使われていることも知りました。



1億円の重さは!?